

江別市議会

第5回 「市民と議会の集い」

〔報告書〕



1. 市民と議会の集いの歩み
2. 開催の趣旨と概要
3. 意見交換の内容
4. 議員間ワークショップ
5. アンケート結果

議会広報広聴委員会

ごあいさつ

今年度も、第5回目となる「市民と議会の集い」が開催され、市民の皆様に参加いただきましたことに、まずもって感謝を申し上げます。議会もここ数年、議会改革に取り組んでいるところで、インターネットでの情報公開、情報発信等の推進をしているところであります。

市民と議会の集いにおいても、市民の皆様への情報の発信のあり方や住民参加、意見の聞く場を新たな手法で取り入れているところであり、今回の市民と議会の集いにおいては、本格的なワークショップ形式であるワールドカフェの手法を採用し、市民の皆様の意見をより受け取れるような工夫をいたしました。これからも多種多様な改善の中で、より多くの市民の皆様のお意見をお聞きできるよう進めていければと思います。

今回の市民と議会の集いの報告書が完成しました。多くの市民の皆様にご覧いただき、開かれた議会への取り組みをさらに進めていければと思います。

1. 市民と議会の集いの歩み

地方分権の進展とともに、地方自治体の裁量権が広がり、議会および議員の果たす役割の重要性がいっそう増しています。さらには、自治の基本理念とルールを定めた「江別市自治基本条例」では、議会と議員に関する規定が設けられているため、その具体的な方策を定めるものとして、平成25年3月25日に「江別市議会基本条例」を制定しました。

議会基本条例では、「自らの責務を果たし、市民参加を推進し、市民との協働の下、市民の意思を市政に適切に反映し、市民福祉の向上と市政の発展」を目指しており、第5条第4項では、「議会は、議員と市民が市政全般にわたり、情報及び意見を交換する場を多様に設けるとともに、政策提案の拡大に努めるものとする」としております。

そうしたことから、平成26年にはじめてとなる「市民と議会の集い」を開催しました。毎年、実践と検証と工夫を重ね、今年第5回目となる市民と議会の集いを開催しました。今後も、市民のみなさまのご意見や、先進地議会の事例を調査研究し、よりよい市民と議会の集いが開催できるよう、努めてまいります。

◎平成26年



平成26年11月14日（金曜日）に、江別市民会館にて、第1回「市民と議会の集い」を開催いたしました。これまでの議会改革への取り組みや議論などを説明させていただき、皆様から貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

◎平成27年



平成27年11月6日（金曜日）に、江別市議会本会議場にて、第2回「市民と議会の集い」を開催いたしました。限られた時間でしたが、皆様から様々な貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

◎平成28年



平成28年11月13日（日曜日）に、江別市民会館にて、第3回「市民と議会の集い」を開催いたしました。常任委員会ごとに3つのグループに分かれ、ワークショップ手法を取り入れることで、参加者の方々と議員の対話ことができました。ありがとうございました。

◎平成29年



平成29年11月12日（日曜日）に、江別市民会館。平成29年11月16日（木曜日）に、大麻公民館にて、より多くの皆様のお声をお聞きできるよう初めての2会場開催で、第4回「市民と議会の集い」を開催しました。3常任委員会及び市立病院・地域医療検討特別委員会についてテーマに基づく意見交換をした後、フリータイムを設け、皆様から貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

2. 開催の趣旨と概要

市民の方々からいただいたアンケート等による意見、議会内での検証、先進地議会の調査を踏まえ、可能な限り参加者全員の声を聞き取るべく、これまでの対面形式ではなく、本格的なワークショップ形式（ワールドカフェ）による意見交換の手法を導入しました。

また、本格的なワークショップの導入に際し、ご意見をいただきやすい身近なテーマであり、人口減少高齢社会への対応が江別市における重要課題であることから、「健康」をテーマにして、第5回「市民と議会の集い」を開催しました。

江別市民会館：10月14日（日）14:00～16:00（開場：13:30）	
議長：高間専逸 / 副議長：宮川正子	
自民クラブ	宮本忠明 / 山本由美子 / 野村尚志 / 三角芳明
民主・市民の会	鈴木真由美 / 干場芳子 / 諏訪部容子
公明党	裏君子
江別未来づくりの会	本間憲一
日本共産党議員団	吉本和子
議会広報広聴委員会：星克明（委員長） / 堀直人（副委員長） / 内山祥弘 / 徳田哲	

江別市コミュニティセンター：10月16日（火）19:00～20:30（開場：18:30）	
議長：高間専逸 / 副議長：宮川正子	
自民クラブ	清水直幸 / 島田泰美 / 角田一
民主・市民の会	赤坂伸一 / 岡村繁美 / 尾田善靖
公明党	齊藤佐知子 / 相馬芳佳
江別未来づくりの会	石田武史
日本共産党議員団	高橋典子
議会広報広聴委員会：星克明（委員長） / 堀直人（副委員長） / 内山祥弘 / 徳田哲	

3. 意見交換の内容

今回の市民と議会の集いは、広く市民意見の聴取を行うことを目的として「ワールドカフェ方式」によるワークショップを開催しました。ワールドカフェとは、カフェのようなりラックスしたオープンな雰囲気の中で、対話を通じてテーマに集中した話し合いを行うもので、「講義など一方的な知識伝達のスタイルではなく、参加者自ら参加・体験して共同で何かを学びあったり創り出したりする、学びと創造のスタイル」（『ワークショップ』中野民夫）として、近年、立場の違いを越えて新たなアイデアを生み出す対話の手法として様々な場面で活用されています。

ワールドカフェは5～6名で1つのテーブルを囲み、異なるテーマを設定した3つのラウンドで話し合いを行います。ラウンド1での話し合いが終わると、中心者となるテーブルホスト1名を残し、他の参加者は「旅人」となって他のテーブルに移動します。こうすることによって、より多くの参加者と意見を交わすことができます。各テーブルでは模造紙とペンを使い、参加者が心に残ったことや自らの考えを自由に書き込みながら話し合いを進めます。異なるメンバー構成でラウンド3まで話し合いを行い、最後にはじめに座ったテーブルに戻り、ハーベスト（振り返り・意見共有）を実施します。

◎意見交換のテーマ

全体テーマ	あなたの健康・わたしの健康 ～「健康都市えべつ」でいま、そして未来に向けてできること～
ラウンド1	あなたが健康のために気をつけていることは？
ラウンド2	健康で安心して暮らせるとはどんな状態？～あなた、家族、近所、地域～
ラウンド3	そのためには何が必要だと思いますか？ あなたはどうありたいですか？

『あなたの健康・わたしの健康 ～「健康都市えべつ」でいま、そして未来に向けてできること～』という大きなテーマのもと、健康についての身近な取り組みから、家庭や地域における課題、そして「健康都市えべつ」の今後について掘り下げ、広くご意見をお伺いしました。その上で、最後にハーベストにおいて参加者それぞれが当日1番印象に残ったことを中心に、意見の共有を行いました。

◎1回目の意見交換

開催概要	
日時	平成30年10月14日（日） 14:00～16:00
場所	江別市民会館・小ホール
参加者	市民14名／議員12名（運営担当の議会広報広聴委員を除く）
タイムテーブル	<p>14:00 開会宣言：議会広報広聴委員会・星委員長 開会挨拶：高間議長 趣旨説明：議会広報広聴委員会・堀副委員長 ワークショップの説明：議会広報広聴委員会・徳田委員</p> <p>14:20 ラウンド1</p> <p>14:45 ラウンド2</p> <p>15:10 休憩</p> <p>15:20 ラウンド3</p> <p>15:45 ハーベスト</p> <p>15:55 閉会挨拶：宮川副議長 閉会宣言：議会広報広聴委員会・星委員長</p>

主な意見	
ラウンド1	<ul style="list-style-type: none"> ・健康が大切 ・食べ物、運動、近所付き合い ・病気になること ・健康管理。できることを継続する ・公園で運動する ・バランスの取れた食事 ・適度な運動、体力づくり ・近所付き合いを大切にする ・地域連携を深める ・腹八分で長寿100歳人生を ・何事にも関心をもつ ・人との関係を大切にし、お金をかけなくても身近で取り組める ・ありのまま ・外に出かけて、見る、知る、聴く、話す、食べるなど、メンタルを大

	<p>切にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠 ・健康でいたいという思いをもつ ・地域内を出歩く ・多くの人と会話する ・声をかけ、多くの人を誘い参加する ・サークルや会合に進んで参加する ・ボランティアなど、できることをする ・「今日、用がある」生活 ・マラソンなどの体力づくり ・禁煙、断酒 ・パークゴルフ ・冬季間の雪かき。除雪が運動になる ・歩くこと
<p>ラウンド2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが大事。それによって精神の安定が保たれ、体調が良くなり、食も進む ・若者と高齢者の垣根を越えていけるように ・人とつながること、好奇心を持って暮らすこと ・地域が安全、安心な住みよい所となれば、人は家から出るし、運動につながる。体力向上となる ・精神的安定がストレス解消になり、安心、安定、楽しい生活ができる ・趣味をもって人間関係を深める ・皆でジギスカンパーティーをする事でコミュニケーションが良くなった ・地域とのつながりがあること ・孤独にならない、させない ・安心して暮らせる街であること ・安心な食べ物、運動ときれいな空気、水、緑を守り、生活する ・加齢に伴う変化に対処しつつ現状を維持する ・地域でのコミュニケーションが地域課題を解決する ・独居高齢者の災害時の健康状態の確認 ・日常の準備 ・パークゴルフなどの楽しみをもつ ・歩いて行ける状態、環境 ・定期的な会合など、集まりがあること

<p>ラウンド3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化、独居のご年配の方、ご高齢の夫婦世帯の方が増えるが、孤独にならないよう町内で尽力していただきたい ・ 地域の地区センターや自治会館などの施設を解放し、いつでも誰でも集える場所に ・ 認知症などの介護者の居場所づくり ・ 高齢者用公園など ・ 交通網の整備、充実 ・ 孤独にならないように町内で知恵を出す ・ 近所の声掛けが大切 ・ 子どもとお年寄りが交流できる公園を造ってはどうか ・ 自由に入出りできるカフェが必要 ・ 冬道の確保 ・ 都市と農村の交流センター（えみくる）への移動手段の確保 ・ 公共施設等のベンチ ・ 年に1回でも顔を合わせて話をする場 ・ 地域の話し合いの場所、交流の場所が必要 ・ きちんとした食事、運動ができること ・ 健康診断等、市のサポートを続けてほしい ・ 高齢者と子ども、高齢者と働く世代との交流が日常的にできるような自治会が必要 ・ 市民の検診率を上げる ・ 日頃の生活に様々な療法を取り入れる（ヨガ・音楽・笑いなど） ・ 高齢者の健康診断 ・ 道路の整備 ・ 家族ぐるみの交流 ・ トレーニングマシーンを色々な所へ
---------------------	---

◎2回目の意見交換

開催概要	
日時	平成30年10月16日（火） 19:00～20:30
場所	江別市民会館・小ホール
参加者	市民13名／議員12名（運営担当の議会広報広聴委員を除く）
タイムテーブル	<p>19:00 開会宣言：議会広報広聴委員会・星委員長 開会挨拶：高間議長 趣旨説明：議会広報広聴委員会・堀副委員長 ワークショップの説明：議会広報広聴委員会・徳田委員</p> <p>19:15 ラウンド1 19:35 ラウンド2 19:55 ラウンド3 20:15 ハーベスト 20:25 閉会挨拶：宮川副議長 閉会宣言：議会広報広聴委員会・星委員長</p>

主な意見	
ラウンド1	<ul style="list-style-type: none"> ・食、睡眠、運動 ・「江別市健康都市宣言」が実行につながる ・ストレスが一番悪い。無理をしない ・足腰が大事。食事に気を遣い、牛乳やチーズを食べる ・昔はスポーツジムに通っていた ・社交ダンス、カラオケ ・スナックに行く ・1日卵を2個食べる。1週間に2回運動をする ・怒らない。笑う ・ラジオ体操 ・目標をつくる
ラウンド2	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の定義とはどんなことか？ ・地域の安心を得ることは簡単ではない ・心身のバランスが大切

	<ul style="list-style-type: none"> ・他人との関わり合いを持つこと ・夜安眠できて、朝すっきり目が覚める ・必要な時に病院にかかる。ホームドクターから大きな病院まで適切に ・隣近所と声を掛け合える関係 ・隣近所が大事と言われるが、難しい ・不満を人に話す ・大人の交流場所としての公園があること ・色々な主体を結ぶ横串が無い ・家族の健康が自分の健康 ・誰かと比べない幸福感
<p>ラウンド3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他人のために役立つこと、そのための自己の健康 ・ひきこもり、認知症の問題解決 ・社会的な活動、高齢者クラブなどで仲間づくり ・病気の早期発見、早期治療 ・延命治療、本人の希望が尊重されるようになると良い ・健康には財力が必要 ・自分が健康でなければ、他人も地域も救えない ・世代の壁を取り払うことが、健康な状態につながる ・とにかく家から外に出る ・引っ張り出す方法。動機付け ・地域になじむ自治会活動 ・グループに入るための仕掛け、動機付け ・小さなコミュニティ ・ラジオ体操の普及。朝、集まることから ・健康づくりの施設を豊幌地区にも欲しい ・健康ポイント（マイレージ）とアプリ ・空家を活用する ・「健康優等生」の押しつけは良くない ・行政はサポート役

◎意見交換の様子



4. 議員間ワークショップ

10/14（日）・10/16（火）に開催された「市民と議会の集い」の実施を受けて、市民との意見交換の内容を議員間で共有するとともに、より課題・施策として深めるため、議員間ワークショップを以下の要領で実施しました。

日時	平成30年11月5日（月）13:30～15:30
場所	江別市民会館37号室
テーマ	ラウンド1：市民から聴取した意見について ラウンド2：その意見から見える現状の課題について ラウンド3：今後必要な施策について
タイムテーブル	13:30 開会挨拶：高間議長 <司会・説明：議会広報広聴委員会・星委員長> <ファシリテーター：議会広報広聴委員会委員> 13:40 ラウンド1 14:00 ラウンド2 14:20 ラウンド3 14:40 休憩 14:45 ハーベスト 14:50 グループ内発表（「課題と取組」の用紙記入タイム） 15:05 各テーブルファシリテーターによる全体発表 15:20 閉会挨拶：宮川副議長

◎議員から出された課題と取組

01	課題	①自由に外に出て、自由に休める空間（スペース）が身近なところにあるといい。小規模。管理人の有無に関わらず。 ②外に出る、出ないに関わらず自分のペースの生活がしたいので、出ることを強制しない。健康の価値観は人それぞれある。
	取組	①例えば小学校に1～2カ所（民間の空家等、自治会館、住区会館以外） ②それぞれの価値観の尊重（人それぞれの生き方）。声を掛ける事は必要（あいさつ、声かけ）。押し付けにならない限度をわきまえる。

02	課題	本人（家族）が健康でも様々な環境によって変わってくる（精神的健康）
	取組	外的環境はさけられないこともあるが、極力、他の人とのコミュニケーションを図ること。

03	課題	①健康に関心を持つ人をどのように増やすか。 ②孤独な人をつくらない。
	取組	①健康に関心を持つための動機づけの取組。健康ポイントなど、マイレージインセンティブを付与すること。 ②孤独にさせない、つくらない仕組みを。地域の支え合いの仕組みが重要。 ③その他、憩いの家や自治会、カラオケ機器の充実。

04	課題	①外に出ることの大切さ。人との交流で顔を見て話しをする。 ②地域内の出会いを行う（サークル）
	取組	①幼児から高齢者までの集える場所として公園等で話し合える一角を設ける。土足で集まれる場所、男性も集まりやすい工夫をする。 ②地域内の高齢者と若者の交えることが出来るように、若者を地域に取り込めるよう工夫をして開催する会議や行事を設ける。

05	課題	健康づくりに参加しやすくすることが大切。
	取組	行政側の仕掛け（例：歩数に応じたポイント付与、スマホアプリ、スタンプ）

06	課題	健康に対する行政の認識。
	取組	市民のニーズに合った施策が必要。

07	課題	健康に対する捉え方と考え方の違い（市民側と行政側）
	取組	小規模な単位での意見交換。

08	課題	<p>①健康都市宣言が食で進めているが、市民意見として、健康イコール、運動や心の健康を意識する人が多い。</p> <p>②啓発が強制になることもあり、ライフスタイルの多様化において難しい側面もある。</p> <p>③コミュニティの再生。</p>
	取組	<p>①健康増進事業の多面化。事業の相乗効果を考えた施策、連携。</p> <p>②様々なライフスタイルに合わせた啓発。民間ですでに行われているものを活用（大人の食育など）</p> <p>③自治会などの取組。</p>

09	課題	<p>「健康」とは？病気の方がひけ目を感じるような方向になってはならない。</p> <p>「健康」を市民がイメージできるように。</p>
	取組	人それぞれに合った取り組みができるような展開が求められる。

10	課題	<p>①定年後の男性への働き掛け。</p> <p>②地域の繋がり。</p> <p>③身近な地域で集まれる場所。</p>
	取組	<p>①外に出る動機づけ、仕掛け。地域活動の情報周知。</p> <p>②若い人も参加できるような取組、会議の仕方。</p> <p>③大人も憩える公園（椅子、あずまや、健康器具）。お茶を飲みながら会話できる場所。</p>

11	課題	健康の感じ方、捉え方は人それぞれ。身体面においても一律にすることは無理。内面の充実にこそヒントあり。
----	-----------	--

	取組	<ul style="list-style-type: none"> ①環境（きれいな空気・水・多くの緑）の充実。 ②生涯学習、市民活動、市民サークルの取組の充実。 ③食べることは生きること！ ④地域食堂...楽しいかな？
--	-----------	---

12	課題	<ul style="list-style-type: none"> ①健康であるためには、人の交流の場が必要ですが、そのような場が足りない。 ②認知症対策が足りない。 ③健康寿命を伸ばすためには、食が大事。勉強、食育の必要性。 ④高齢期の婚活、お茶のみ友人。気楽に。
	取組	<ul style="list-style-type: none"> ①小学校区くらいで集まれる場所を設置すべき。 ②認知症の簡単な検査をできる所が必要。 ③食育に取り組む。小さい時から老後まで。 ④高齢期の一人暮らしを減らすため、婚活を進める。

13	課題	心と体の健康を維持するためには？
	取組	<ul style="list-style-type: none"> ①行動するための動機付けを提供していくこと。 ②行動を続けて行く動機をつくる（目標と達成感を感じ取れる）

14	課題	<ul style="list-style-type: none"> ①コミュニティの活性化。 ②気軽に集える場。
	取組	<ul style="list-style-type: none"> ①家から出るための仕掛けをたくさん作る（公と民間） ②シェアハウスなど。

15	課題	それぞれ「健康」に対する考えは違っている。個々人の「健康」を「私の健康」という立場で考えて行くことが重要（私の問題として）。だが、むずかしい！時に、おせっかいとなったり、拒否されたり...
	取組	日常的なつながり、お隣さんとしてのつながり、自治会や高齢者クラブのつながりなど、接点の持てそうなことでつながりが持てるようにする。具体的には、やっぱりお互いに「声かけ」を続ける。

16	課題	<p>高齢化によるコミュニティの必要性。</p> <p>「心」：ふれ合い。</p> <p>「交流」：地域となり同士。</p> <p>「身」：病気、年齢による体の衰え。</p>
	取組	<p>地域の公園：子どもの遊具だけでなく、大人のストレッチ機具も設置。</p> <p>憩いの場のあり方：地域の会館にフリースペース。自由にいつでも行ける。</p>

17	課題	<p>個人の尺度がそれぞれあり、一斉にスタートまたは理解とはならない。しかし、江別市として施策で目指すべき指針に向かって、それぞれの歩みを進めるために情報や施設は提供すべきではないか。</p>
	取組	<p>健康の定義は一人ひとり違うのだから、この場所で笑えるような生き方を各自が見つけて取り組むしかないが、そこに貧富や不公平を少しでも抑える為の施策が必要であろう。どんな状況になっても、投げ出さずに生活できる拠り所は必要だとも思う。</p>



5. アンケート結果

参加者の年代では、40歳代から80歳代以上の各年代層が均等しておりますが、30歳代以下の世代に参加者がありませんでした。こうしたことから、幅広い世代に興味を持っていただく方策の必要性という課題が見て取れます。

参加者の居住地域では江別地区、野幌地区が多数を占めていることから、開催場所が影響しているものと考えられ、こちらも今後の課題として見て取れます。

市民と議会の集いへの参加回数では、約半数が初参加で情報源として議会だより、ポスターが半数を占めており、開催広報には効果があったものと考えます。

開催曜日の希望については、特定の偏りはなく、開催時間については午後と夜間での開催希望が4割程度でありました。

開催場所については、複数会場での開催希望が6割以上を占め、江別、野幌、大麻、豊幌、江北地区など広域での開催が居住地域近隣なので、参加しやすいとのことでした。

開催内容については、半数以上の方から理解度、満足度ともに良い評価でした。

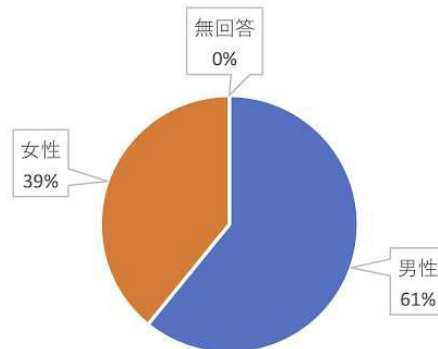
自由記述からは、評価点として、他の参加者の意見を聞いて良かった、自分の意見が出しやすかった、議員が身近に感じられたなどの感想をいただきました。改善点としては、参加人数が少ないこと、開催回数と開催場所が少ないこと、テーマが解りづらかったこと、各ラウンドの時間が短かったこと、日常において市民と議員とのコミュニケーションが不足していることなどのご意見をいただきました。

◎集計結果

性別

	人数	%
男性	14	60.9
女性	9	39.1
無回答	0	0.0
合計	23	100.0

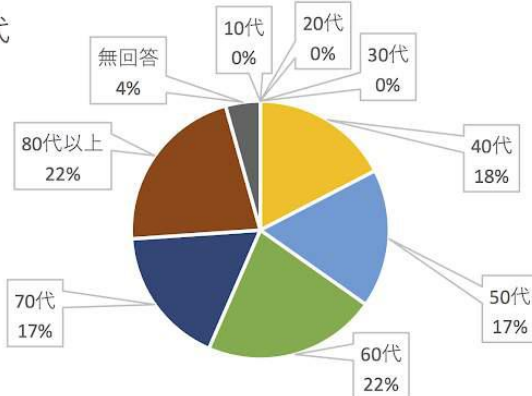
性別



年代

	人数	%
10代	0	0.0
20代	0	0.0
30代	0	0.0
40代	4	17.4
50代	4	17.4
60代	5	21.7
70代	4	17.4
80代以上	5	21.7
無回答	1	4.3
合計	23	100.0

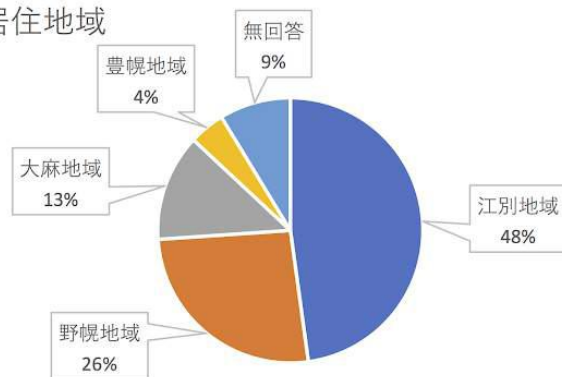
年代



居住地域

	人数	%
江別地域	11	47.8
野幌地域	6	26.1
大麻地域	3	13.0
豊幌地域	1	4.3
その他	0	0.0
無回答	2	8.7
合計	23	100.0

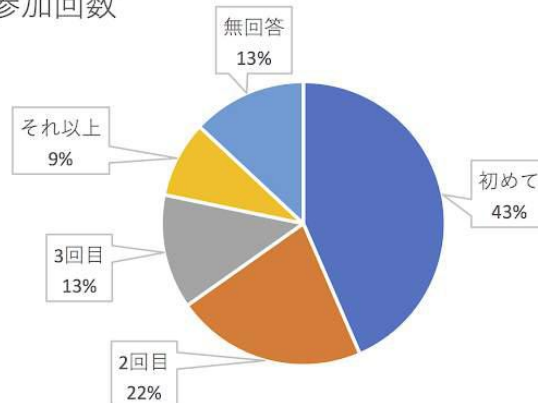
居住地域



参加回数について

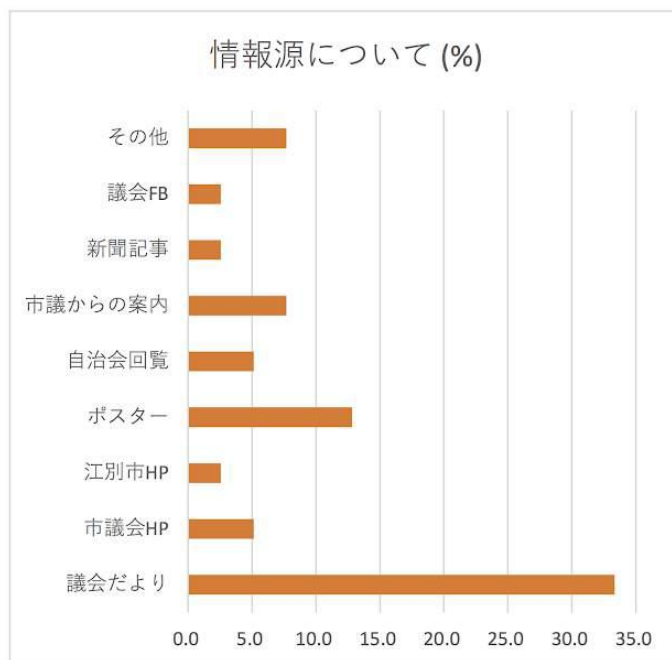
	人数	%
初めて	10	43.5
2回目	5	21.7
3回目	3	13.0
それ以上	2	8.7
無回答	3	13.0
合計	23	100.0

参加回数



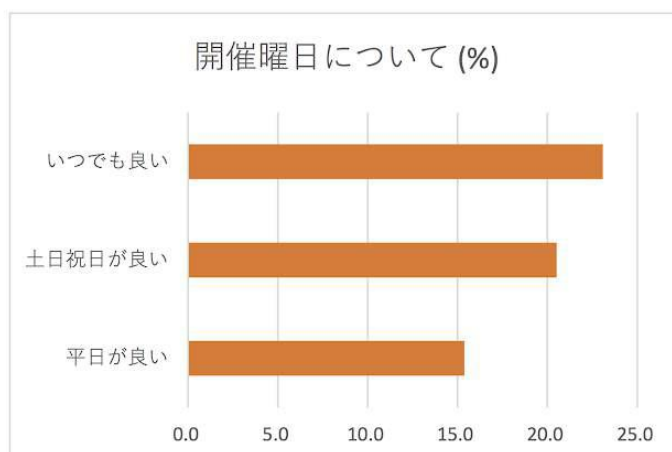
情報源について (複数回答)

	人数	%
議会だより	13	33.3
市議会HP	2	5.1
江別市HP	1	2.6
ポスター	5	12.8
自治会回覧	2	5.1
市議からの案内	3	7.7
新聞記事	1	2.6
議会FB	1	2.6
その他	3	7.7



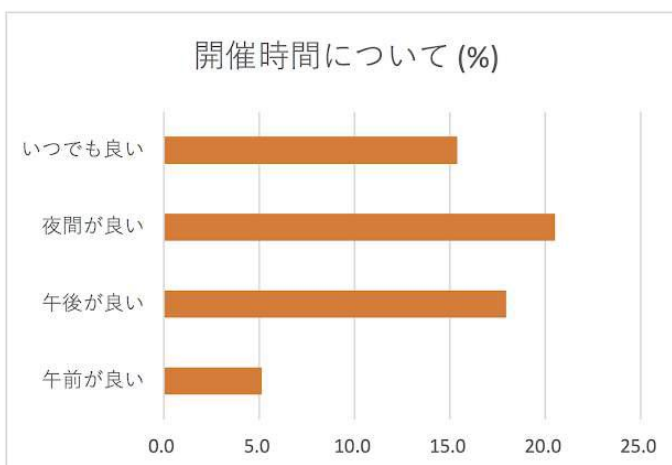
開催曜日について

	人数	%
平日が良い	6	15.4
土日祝日が良い	8	20.5
いつでも良い	9	23.1



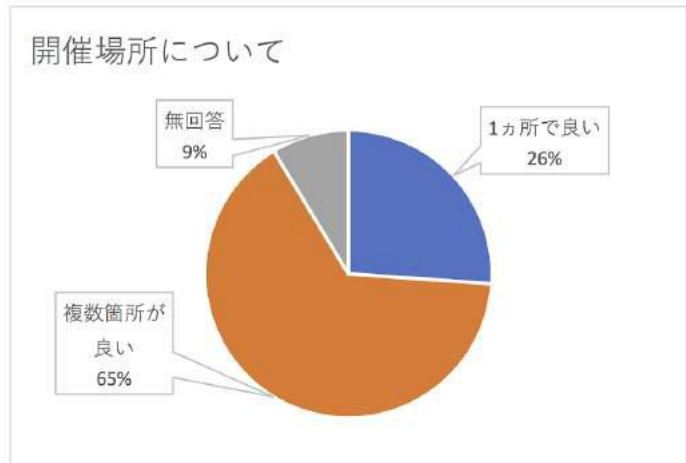
開催時間について

	人数	%
午前が良い	2	5.1
午後が良い	7	17.9
夜間が良い	8	20.5
いつでも良い	6	15.4



開催場所について

	人数	%
1ヵ所で良い	6	26.1
複数箇所が良い	15	65.2
無回答	2	8.7
合計	23	100.0

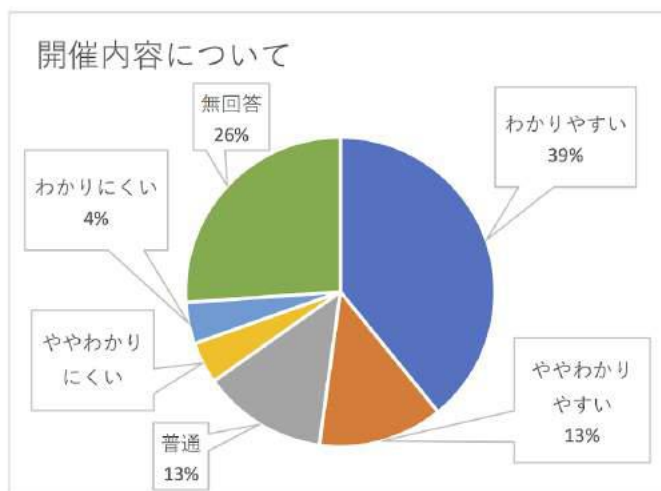


※複数箇所の考え方について (複数箇所が良いと回答した方のみ自由記述)

野幌・江別・大麻地区とバランスを取って開催 (同様の意見が2件ありました)
江別・野幌・大麻・豊幌・江北
例えば地域ごとに開催すれば、より参加し易くなると思います
もっと身近な所のほうが行きやすい。5~6ヶ所が望ましい
多くの方が参加しやすい様、交通の便等
人の多い野幌エリアでの開催が良いと思います
市民会館を中心にして

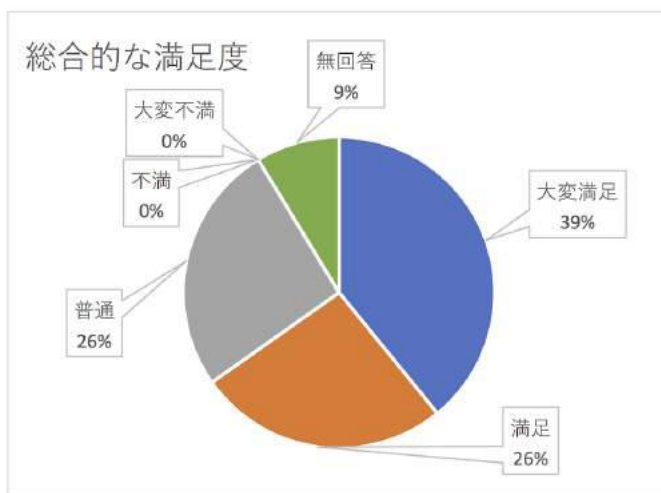
開催内容について

	人数	%
わかりやすい	9	39.1
ややわかりやすい	3	13.0
普通	3	13.0
ややわかりにくい	1	4.3
わかりにくい	1	4.3
無回答	6	26.1
合計	23	100.0



総合的な満足度

	人数	%
大変満足	9	39.1
満足	6	26.1
普通	6	26.1
不満	0	0.0
大変不満	0	0.0
無回答	2	8.7
合計	23	100.0



性別	年代	住まい	自由記述（原文のまま記載しています）
男性	60代	野幌	もう少し人数が多ければ良かったですね
女性	50代		思ったより意見を出しやすく、他の方の意見を聞いて良かったです。市民がもう少し多いと良いと思いました。
男性	40代	大麻	ぜひ、別のテーマでもやってみたいです。
女性	70代	江別	議員の動きがよくみえないと議員定数削減になったと思います。広報だけでなくこの集いがいいと思いますが、もっと身近な場所で開かれると参加者が多くなるのではと思います。 2ヶ所では少ない！
女性	50代	江別	お茶やおかしがあったら、もっとうれしい。 おもしろかったです。
女性	50代	江別	テーマをもう少しわかりやすくして下さい。 健康のがい念が人さまざまだと思います。
男性	80代	野幌	・今回のテーマをどう生かすか、進めるかの指針がなった。 ・テーマに対するシュミレーションが不足ではないか？ ・集いとうたい乍ら、市民より議員が多いのは何故？
男性	40代	大麻	参加者がふえるように。。。とくに若い世代がふえるように。。。 若い議員版もあっても良いのでは？アンダー50とか。。。。
女性	60代	江別	議員さんを身近に感じられました。これから、要望などもお伝えしたい
男性	40代	大麻	短い時間で、多くの方のお話を聞いて有意義でした。 他のテーマでもお話ししてみたいと思いました。
男性	70代	江別	※各自の私見は多様であり「安心、安全」な市民生活のための意見交換をしたい。
男性	80代	江別	街中が、安心して行動出来る安全な街を皆で、対話なくして協働なし。 議員活動の〈見える化に力を〉 市民とコミュニケーション不足！！
男性	80代	野幌	ラウンドの時間をもう5分ほど延長してほしい
女性	60代	江別	ワークショップがとても良かった
男性	60代	江別	できれば、CS1ステージと重ったので、配慮してもらえばよかった。

アンケートに記載のあった質問

性別	年代	住まい	自由記述（原文のまま記載しています）
男性	60代	江別	地震停電時に江別だけが断水しましたが、近隣の他の市町村は断水しなかった。何故、江別市の水道は災害時に弱いのでしょうか？
水道部からの回答			<p>9月6日3時7分に北海道胆振東部地震が発生したことにより、北海道全域で大規模停電となるブラックアウトが発生し、道内の45市町村で断水が発生したところです。</p> <p>停電により上江別浄水場では、水を作る浄水設備、水を送るポンプ設備、水質を監視する通信設備など電気を使う設備は全て機能が停止しました。このため、上江別浄水場の配水区域内（主に江別地区）の約23,500世帯への通水ができず断水となりました。</p> <p>上江別浄水場では停電に備え、電力を2系統から供給できる2回線受電方式を採用しており、これまで停電が起こった場合でも断水することなく対応してきました。</p> <p>今回、道内全域のブラックアウトという事態により、2系統とも電力供給が停止し断水となりました。</p> <p>このため市では、国（北海道開発局）に仮設発電機を要請し、約12時間後に浄水場の運転を再開しました。</p> <p>今後におきましても今回の対応を踏まえ、迅速な仮設発電機の手配ができるよう準備を進めるとともに、来年度にかけては非常用自家発電機導入の可否も含めて調査・研究をしてまいりたいと考えています。</p>

おわりに

今回で5回目となる市民と議会の集いは、平成29年に江別市議会に組織された議会広報広聴委員会が企画運営を担当するようになって、2回目の開催となりました。本報告書「2. 開催の趣旨と概要」にあるように、「ワールドカフェ」という手法のワークショップを実施しております。

この手法による開催が初めてだったことから、議員に対する事前説明会と講師を招いたワークショップ実践研修を10月1日に開催しました。実践研修を終えた参加議員からの意見、講師と議会広報広聴委員会による再検討を経て、市民と議会の集いの各ラウンドで話し合うテーマについて決定しました。

第1回目（10月14日）は、14名の市民の方々に、第2回目（10月16日）は、13名の市民の方々に参加していただき、両会場ともに、参加した方々が相互に話して、聴くという進行になりました。

アンケートの結果から、開催内容や総合的な満足度において、概ね良い評価が見て取れているところですが、さらにより良い市民と議会の集いを目指して、今後も研鑽に努めてまいります。

市民の方々と話し合った内容について議員間で共有を図るため、11月5日に振り返りの議員間ワークショップを開催。その後、議員向けのアンケートを実施しました。

今回の大きな課題としては、市民の方々の参加者が少なかったことです。参加者アンケートや議員アンケートからも、参加者を募るためのご意見が記入されておりました。さまざまなご意見を参考にしながら、広報活動の充実を図ってまいります。

市民の方々のご意見について、議会が組織として市政に反映させる仕組みが、現段階のところ構築されておられません。しかしながら、貴重な情報として、各議員が議員活動のなかで活かさせていただいているところです。

議会広報広聴委員会としても、市民の皆様が開かれた議会となるよう、これからも広報広聴に努めてまいります。今後をご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成31年1月発行

◎発行：江別市議会

住所：江別市高砂町6番地 / 電話：011-381-1051 / メール：gikai@city.ebetsu.lg.jp

◎編集：議会広報広聴委員会